

各位

会社名 株式会社マーケットエンタープライズ
 代表者名 代表取締役社長 小林 泰士
 (コード: 3135、東証第一部)
 問合せ先 取締役管理本部長 今村 健一
 (TEL. 03-5159-4060)

2021年6月期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績の動向等を踏まえ、2020年8月14日公表の2021年6月期（2020年7月1日～2021年6月30日）通期業績予想を以下のとおり修正することとしましたので、お知らせいたします。

1. 当期業績予想数値の修正（2020年7月1日～2021年6月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株あたり 当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 13,500 ～14,500	百万円 730 ～900	百万円 733 ～903	百万円 360 ～450	円 銭 68.88 ～86.10
今回修正予想（B）	10,910	68	41	△40	△7.60
増減額（B－A）	△2,590 ～△3,590	△662 ～△832	△692 ～△862	△400 ～△490	—
増減率（%）	△19.2 ～△24.7	△90.6 ～△92.4	△94.4 ～△95.4	—	—
（ご参考）前期実績 （2020年6月期）	10,904	655	664	291	55.90

2. 修正の理由

・ネット型リユース事業

不透明な外部環境を勘案し、商品買取のためのインターネット広告運用効率化に主眼を置いた事業展開を行ったことから、既存取扱商材については堅調に推移いたしました。しかしながら、当期の重点強化施策として注力しておりました農機具分野においては、世界的な海運コンテナ需給の逼迫を背景に輸出遅延が多発する等、売上高が当初想定を下回りました。また、同様に注力しておりました「おいくら」分野につきましては、収益拡大に向けて人員増やシステム投資などの先行投資を行いました。収益化が当初想定に比して遅延いたしました。

・メディア事業

当第3四半期において回復を見込んでいた収益性の高いキーワードにおける検索順位が前四半期に引き続き低位にとどまったことにより、売上高が当初想定を下回りました。

・モバイル通信事業

大手通信企業の低価格通信プラン発表による通信市場の競争が激化したことに加え、自社通信メディアからの送客数減少により新規回線契約の獲得が減少したことから、売上高が当初想定を下回りました。

以上の結果、売上高、段階利益において前回予想を下回る見込みとなったことから、業績予想を修正いたしました。

(注記事項)

業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の業績は今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以 上